

# 環境マネジメントシステムの取り組み状況

## 環境目標はおおむね達成

市では、環境保全、環境汚染の予防に配慮した活動を積極的に行っていくため、環境マネジメントシステム(EMS)を運用しています。

平成24年度は、再生可能エネルギー導入事業やペットボトルキャップリサイクル事業の実施など、41項目の環境目標に取り組み、40項目で達成することができました(左表は主な実施状況)。

## 1. 自然と調和した潤いのある街づくりの推進

環境目標	達成状況
環境保全の施策を充実するため、大気や水質等を測定する	空間放射線量の把握や河川水水質調査、酸性雪調査を実施した。
公民館で実施する主要な講座や教室の中で環境問題に関する学習を取り入れる	自然散策会(長木公民館) 花いっぱい運動(花岡公民館)
大館市子どもサミットを開催し環境活動項目を決定する	大館市子どもサミットを2回開催。ペットボトルキャップの回収を行い、リサイクル原料で作られたプランターを岩手県釜石市へ寄贈した。
ISO14001認証取得・維持に関する情報を提供する	内部監査員養成合同研修会、大館市エコフェアや生涯学習フェスティバルへの出展などを実施した。
平成24年度の二酸化炭素排出量を平成17年度対比6.0%削減する	セタライトダウンデーを7月に実施したほか、大館市役所地球温暖化防止実行計画「エコ・プラン21」を改定。
国の電力需給対策に対応して節電対策を実施する	夏期・冬期の節電対策を決定し、緑のカーテンを実施したほかクールビズ、ウォームビズを推進した。
公有林の除間伐を97.74ha実施する	除間伐実施面積 97.74ha
公共下水道の水洗化戸数を10,200戸とする	平成24年度末水洗化戸数 10,282戸
下水路の浚渫を125m実施する	下水路 170m浚渫
都市下水路の浚渫を400m実施する	都市下水路 835m浚渫

## 大館市EMSネットが「内部監査員養成研修会」を開催

大館市EMSネット(ISO14001を取得した市内の企業や行政で構成する組織)では、5月8、9日に内部監査員養成合同研修会を開催しました。研修会には、エコシステム秋田、光輪技研大館センター、大館市役所から計11人が参加し、内部監査員の資格を取得しました。

## 2. 省資源、省エネ、リサイクルの推進

環境目標	達成状況
電力の使用量を600,000kWh以下とする	使用量470,758kWh △129,242kWh
事務用紙の使用量を6,200,000枚以下とする	使用量5,335,034枚 △864,966枚
公用車用燃料の使用量を別に管理する公用車を除き、202,000ℓ以下とする	使用量255,223ℓ 53,223ℓ超過
ごみ分別・減量を徹底し、平成24年度のリサイクル率を17.16%とする	リサイクル率 17.63%
ペットボトルキャップリサイクル運動の拡大	回収量 5,316kg
小型電気電子機器リサイクルシステム構築社会実験事業を実施する レアメタル等資源リサイクル特区の事業実施に向けた調整を行う	こでん回収量 18,952kg レアメタル等資源リサイクル特区の事業実施に向け、地域協議会を3回開催した。
廃食用油回収事業の実施	回収量 59,810ℓ
LED照明の導入	庁舎・公共施設に7,030本のLED照明を導入した。
再生可能エネルギーの導入	導入に向け設計工事委託業務を発注(完成は平成25年度)
年間で生ごみ、鶏糞、粕殻を合わせて1,800tを堆肥化する	堆肥化量 3,094t



## 環境マネジメントシステムとは

環境保全に関する取り組みを進めるために、環境に関する方針や目標などを自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくことを「環境マネジメント」と言います。また、このための工場や事業場内の体制や手続きなどの仕組みのことを「環境マネジメントシステム(EMS)」と言います。この国際規格が「ISO14001」です。

大館市は、平成12年からISO14001の認証を受けていますが、これを維持していくためには、第三者の審査登録機関による審査を受ける必要があります。

環境マネジメントは、事業活動を環境に優しいものに変えていくために効果的な手法で、幅広い組織や事業者が積極的に取り組んでいくことが期待されます。



お問い合わせ

環境課環境企画係  
☎ 43-7049